

11月16日



■95号の石川逸子さんの文を拝見して

箕面市 古川佳子

『ニュース』95号拝受。いつも内容のいっばい詰まったもので、ともすれば悲観的になりがちなわが抵抗の精神をふるい立たせてくれます。

私が最も指標としてしている澤地久枝さん、石川逸子さんのお名前を目次で見て、わくわくしながらページを開きましたら、石川さんの文に、いきなり大阪のいまいげんじさんの『片雲の記』からの引用文があつて、びっくりいたしました。いまいさんは、私が箕面忠魂費訴訟の原告であつた時以来の知人で、今は隣のケアハウスに一人暮らしをなさつていて、月に一度くらいお訪ねしております。いまいさんや、以前30の会にカンパをしてくださった神戸の友人にも送りたいので、95号を2部ほどお送り下さい。

(後略)【編集部より】いまいげんじさんの『片雲の記——思索・エッセー』は、06年1月、新風書房刊、税込一五〇〇円
新風書房は〒5430021 大阪市天王寺区東

高津町5-17 電話 06-6768-4600です。「帯」には「国家、戦争と天皇、靖国神社、平和憲法、最高裁ほか、93歳翁の思索とエッセー」とあります。

■ビラ配りの公務員法違反有罪判決について

西東京市 吉川勇一

6月29日の国家公務員法(国交法)違反事件有罪判決は、見逃すことができませぬ。これは03年の衆院選挙前に、厚生労働事務官が共産党の機関紙を配つたとして国交法違反で起訴された事件でした。

被告・堀越明男さんが起訴されるまで、公安警察は、40日間にわたつて、多い日には11人も動員して堀越さんを尾行し、「演劇(観劇)を終了し、男女10人ぐらゐと居酒屋に入る。居酒屋を出た後、カラオケ店に入店」など、容疑と関係のない私生活まで監視、記録し、ビラ配布の模様をビデオで撮影するなどして「証拠」をそろえた上、勤務時間外の休日に職場から遠い自宅付近でのビラ配布を起訴したのである。このような異常捜査を、東京地裁はほとんど看過し、堀越さんに有罪判決を言い渡しました。

立川テント村ビラ撒き事件への弾圧などとともに、このような表現の自由への重大な侵害行為には、市民運動としても

強く抗議すべきだと思います。共産党だけに関わることではなく、いずれは市民運動全般にも及ぶ言論規制だからです。

■居住十二年、初めての基地射撃訓練

埼玉県狭山市 ロク

埼玉県の狭山市に住んで十二年、航空自衛隊入間基地のフェンスには十分ぐらいで達するところに居ます。だいたい朝七時半には家を出て、帰宅は夕方から夜なので、飛行機の離発着の騒音は日常あまり感じませんが、時として轟音がひびき、輸送機らしきずっしりとした重量級の機体が電柱と電線をひっかけていくかのごとく間近に低く飛び立つ姿に忘れていたことを思い知らされるといふ具合でした。ところがこの一週間ぐらい前、自治会の回覧にB5のお知らせが一枚、「入間基地での対テロ訓練について」が入ってきました。その中で驚きかつ危惧したことは《空砲射撃訓練》の一語でした。今まで一度もこのような回覧など記憶にはなく、また空砲とはいえ、射撃訓練を周辺住民に知らせるなどは、事ここに至り、この感を新たにしました。

沖繩・辺野古、キャンプ座間への日米両軍の司令部移転、六ヶ所村再処理工場の稼働、その他日本中の基地が、日米ともに即アメリカの戦争に直結していくのだと我が身の皮膚で分かる今日です。ア

ば、と思います。

■新編集部ががんばれ

東京都三鷹市 八代俊長
日米同盟、まっぴらごめんです。自民
党万年政権にピリオドを。
新編集部ががんばってください！

■反九条改憲の大きなうねりを

東京都調布市 佐々田昭子
憲法九条を変えないで欲しいと、本
当にいろいろの方、お金持ちや熱
心な信者などから聞きます。そ
ういう方を結集して大きなうね
りにしないと駄目です。小異を
捨てて大同について、この際、
日の丸・君が代も横に置いて。マ
スコミが駄目ですね。JAGがも
っと啓蒙してほしいです。

■「時代の行列に参加するな」という言葉をかみしめて

東京都あきる野市 森 三代子
十一年間の入退院の後、車椅子
での生活です。年金の中からです
のでわずかですが、このような形
で参加させて頂けるとうれしい
です。障がい者、高齢者、子
ども…二度と邪ま者にされない
国に願っています。今、声をあげ
なければ、の思いです。「時代の
行列に参加するな」との言葉を
かみしめています。

■9条の実現をもっと国家に迫って

東京都三鷹市 柴田高好
平和憲法第九条は、国家そのもの
を問うています。もっと国家自
体に迫ってください。

■非戦の一点でまとまろう

大阪府枚方市 松島啓治
今、労働者は分断され、組合は
瀕死の状態にあります。これからの
日本の行く末に「戦争をしない」「
九条を守る」の一点でまとまる
ことが、これから生まれてくる
子への我々の責任だと思います。

■表紙の絵画に感激

横浜市戸塚区 荒島茂
表紙の無言館の西岡氏の遺作、
感激しました。無言館で涙した
者として、是非シリーズで続
けて下さい。

■「教え子を戦場に送るな」ふたたび

静岡県 鈴木孝子
遅まきながら静岡でも、退職者
教員の会末広の会が九条の会を
立ち上げることにしました。現
職当時の「教え子を戦場に送る
な」のスローガンを、今また切
実に願う、行動する時が来よう
とは?!真に国を憂い、大切に思
うからこそ憲法九条を守る私
たち、政治家の悪を粉砕しな
くてはなりません。

■本誌タイトル見直しについて

前号で、本誌タイトルについて読
者の皆様のご意見をお尋ねした
ところ、7月中旬までに約八〇通
のご意見を頂きました。大きく分
けますと、

- 現状のままがよい 23
- 短くするのは賛成だが、大きく変
えない方がよい。例／「市民の
見」「市民の声」など 18
- 「反戦市民」「反戦市民通信」「
反戦市民の会」「反戦市民運動」「
不戦市民」「否戦市民」「市民と
反戦」「発言」「言葉で闘う市民」
など 26
- その他（具体案のないもの。「弱
者の声」という案への批判意見2
を含む） 10

本誌編集委員会では、さらに多く
の皆様のご意見をお伺いした上、
慎重に討議したいと考えております。
ご協力ありがとうございました。

(編集委員 本野)

アメリカの戦争の次は日本独自の戦いが続くシナリオのために、(我が軍)は進んで親分の露払いをしようとしているのかと、こればかりは止めなくてはならないことです。

(二〇〇六年六月二十日Tさんの連載「自衛隊の実態」を読んで)

■テポドンの真実を

愛媛県西予市 大西武将
北朝鮮のテポドンについての真実が知りたい。これについてテレビで危機を放映するから、改憲派に利すると思う。「ニュース」で取り上げてください。

■毎号注目しています

岡山市 宮崎健一(弁護士)
貴重な意見、毎号注目しています。

■戦争そのものの青春

愛知県一宮市 尾藤満昭
ご活躍感謝しています。小生七六歳。一種三級の身障者です。私達の時代は、戦争そのものの青春でした。「君死にたまふこと勿れ」の詩を新鮮な感動で読んだことを思い出します。

■日本国と地球を守る

埼玉県飯能市 中島マリ子
私は若い者達に扶養して貰い乍ら、「難

民を助ける会」「八重山・白保の海を守る会」「天覧山・多峯主山の自然を守る会」等に心ばかりを寄せながら、暮らしております。日本国と地球を守る心で居ります。一九三〇年生。

■改憲派に「愛国心」を語る資格？

東京都板橋区 武田和夫
日本国が最も誇れる「憲法第九条」を改変しようとする人達に、「愛国心」を語る資格があるのでしょいか。

■敬老会員で

千葉県習志野市 H・T
やめようかと思っただけど敬老会員で続けます。一九三二年生

■自衛隊をなくし、その分の税金を平和のために

東京都小金井市 松崎千恵子
自衛隊をなくし、その分、平和の為、福祉・教育・医療の為に使って欲しい。軍隊は最も無駄な税金の使い方です。

■批判から建設へ

東京都日野市 宗近弘武
「DO NOT KILL」に賛同します。が、理念のみでなく、現実論を方向性として見出していききたいと思えます。批判から建設へ。

■平和を守るために、出来る事ならなんでも

岡山県倉敷市 保坂和子
戦争によって、家は焼かれ、命からがらに助かりました。しかし実兄がフィリッピン島で戦死しました。「戦争で殺されるために、息子を育てたんじゃない」と内職のミシンの上で泣いていた母の姿を、今も忘れる事ができません。戦争のない世界、当たりまえの事です。平和を守るため、出来る事なら、「老体ですが」、なんでも取り組んでいきたいです。手がわるく、乱筆お許し下さい。

■短歌の採用嬉しく

石川県石川郡野々宮町 吉田外儀
お世話を感謝しております。意見広告で私の短歌をご採用頂き嬉しく思っています。一九二五年生。

※本年の憲法記念日に「九条実現」意見広告に掲載された吉田さんの作品
四十二基の墓谷あひにひそと立つ
百戸の村の戦没者墓地

■少しでもましな世の中に

神戸市 野田寛
今、八十二歳です。あと何年生きていくかわかりませんが、生きていけるうちに、少しでもましな世の中(日本の)になれ